

# 平成29年度 第4回 総会

◇日 時：平成30年1月30日（火）

◇場 所：上伊那教育会館講堂

## 《 次 第 》

### 1 開 会

### 2 上伊那教育会の歌『仰望』

### 3 会 長 挨拶

### 4 報 告

- (1) 信濃教育会常任委員会報告 (矢澤 会長)
- (2) 上伊那教育会理事会報告 (矢澤 会長)
- (3) 信濃教育会臨時総会報告 (林 常任委員)
- (4) 県外教育関係機関研修報告座談会報告 (林 常任委員)
- (5) 第36次回日中友好長野県教育者訪中団 報告 (北原利雄 会員)

### 5 協 議

- (1) 「あり方委員会」答申について (藤澤 常任委員)
- (2) 「未来継承委員会」答申について (浦野 常任委員)
- (3) 平成30年度上伊那教育会諸事業の充実改善に関する意見・要望について (塩澤 幹事長)

### 6 諸 連 絡

- (1) 「上伊那誌自然篇改訂増補版」について (熊谷 常任委員)
- (2) 平成30年度教科等教育研究会の発足に向けて (林 常任委員)
- (2) 研究紀要39集配布について (春日 常任委員)
- (3) 平成30年度教育関係年間計画について (塩澤 幹事長)

### 7 閉 会



## 会 長 挨拶

- 本年度もすでに登校日が30日あまりとなった。気ぜわしい毎日の中、代議員の皆さんには大変ご多用のところ本総会にご出席いただき、感謝申し上げます。
- 上伊那教育会は、平成24年度公益社団法人となった。当時の矢澤静二教育会長の諮問を受けた上伊那誌編纂検討委員会は検討を重ね、上伊那教育会として「上伊那誌自然篇改訂増補版」の編纂刊行事業に取り組むよう答申した。そして、理事会及び常任委員会の検討を経た後、10月15日の総会において答申通り決定された。それから5年。17回の編纂委員会を開催し、南アルプス、中央アルプス等の補充調査を継続実施し、近年の自然環境の変化などに着目した調査結果をまとめ、平成30年3月刊行、6月出版の運びとなった。すでに各校には案内が配られている。上伊那教育会にとって平成の一大事業が完結しようとしている。

この後、熊谷刊行委員長さんから具体的な話がある。詳しいことは省略するが、委員の皆様方の血のにじむようなご努力の賜であることをこの場で強く訴えたいと思う。委員の先生方が、ご自身のプライベートな時間を惜しみなく研究調査活動や執筆活動に費やしていただいたことにより、この一大事業を成し遂げることができた。心から感謝申し上げます。

今、「働き方改革」という言葉が、ありとあらゆる方面から聞こえている。県教委事務局も、夏休みに2週間休みを取るということが報道された。そのような中であって、「自己研修」とはいいながらも、休日や夏休み等を使って山や野に行き、データを集め分析し、それを、何度も推敲し、中高生が分かりやすい言葉でまとめあげていただいた。考えただけでも気の遠くなるような話であり、それを成し遂げてくれたことに、感謝の言葉以外見つからない。

代議員の先生方へのお願いとして、ぜひ各校で、先生方や家庭に呼びかけていただき、一冊でも多くの本が購入され、児童・生徒・先生方・地域の皆さんが上伊那の自然について学んでいただけるようお力添えをお願いしたい。500冊の限定出版。再版は予定していない。この機会を逃すと二度と手に入れることはできない。

上伊那教育会は、来年度、公益社団法人となって7年目を迎える。来年度は、教育会や社会の情勢等の実態に即し、さらに事業内容の変革に手を付けていく必要を感じている。教育会事業も単なる踏襲から脱却し、今後の教育会を自分たちの手で創り上げる、そんな気概をもって、「会員の会員による会員のための教育会」を構築していくときであろうと思う。

本日の協議では、代議員の皆様から、教育会に寄せる願いや、改善の方向など、忌憚のないご意見をいただき、活発な協議をお願いしたい。会員の皆様の声をしっかり受け止め、来年度の変革につなげていきたいと思う。本日の協議の後、2月6日の理事会を経て、次回3月1日の総会には、30年度の方針と事業計画・予算案を示し、ご承認をいただく予定。本日の総会、大変お世話になりますが、よろしく申し上げます。

## 協議から

※以下の協議内容は一部抜粋です。詳しくお知りになりたい方は、各校の代議員の先生が詳しい資料をお持ちですので、そちらをご覧ください。

### あり方委員会答申

#### (1) あり方委員会答申

- ・藤澤常任委員より、以下のように答申が提案された。

#### 一 組織と事業の検討

##### 1 組織と事業の検討

##### ① 組織と事業の検討について

現在の精選・重点化，再構築の方向が良い。今後，各委員会が活動を再確認することを通して，数年をかけて更に精選と再構築を進めたい。

- ・4月の全委員会で，各委員会が基本的な運営方針を確認し，必要がないと判断した活動内容や委員会の存続そのものについて，理由を付して積極的に会長に提案するようにしたい。

##### ② 郷土研究部の意義と郷土研究を進めるための専門委員のあり方について

自ら学び続ける姿勢こそ，教師の生きる姿である。事業について会員に広報し，地域に根ざして教師自身が学び続ける表徴として専門委員を募り，継続したい。

- ・自然篇改訂増補版が刊行されるが，是非利用を勧めていきたい。

##### ③ 若い教職員や女性教職員，少人数職種の先生方が，積極的・意欲的に参加参画できる体制の構築について

必要感があり，やりがいのある「場」の設定と，やり遂げた充実感を広めたい。

- ・各種委員会への委員推薦を，ベテラン層から若い層へ，また女性も積極的に推薦するよう積極的に呼びかけたい。

## 上伊那教育会諸事業の充実改善に関する意見・要望

## 会員の皆様からのご意見

### 【県外教育機関研修】

県外教育機関研修に参加させていただいた。研修先（大手町小学校）では，丸一日子どもたちと先生方と共に生活し，充実した研修となった。異年齢の先生方と3日間を共にすることで，その場その場で感じ合ったことの話ができ，一人で行く研修とは全く違い本当に良かったと実感した。研修後実施された座談会，雑誌上伊那教育でもお知らせしたが，参加された他の先生方が書かれたことを読ませていただき，研修での学びを改めて再認識できた。教育会からも補助をいただいていた研修だったが，実り多いもので，来年度以降も継続していただきたい。

#### 【平和教育事業】

平和教育研修事業について感謝を申し上げたい。本年度は少年の塔慰霊祭を8月に計画していただいた。誰もが参加しやすい日程でありがたかった。地域の方々に参加を呼びかけたことで、大勢の方々と慰霊祭を行うことができた。大変意義のあることだと感じた。また、慰霊祭では北原先生、矢澤会長からのお話から、上伊那から多くの青少年が満州へ渡ったことに大変驚いた。私自身平和への思いを新たにした。人権委員会の講演会も、満蒙開拓平和記念館の事務局長からのお話をお聞きできたと聞いている。実際の様子を学ぶ良い機会であったと聞いている。平和教育研修事業を充実してくださったこと、大変ありがたく感謝している。

#### 【ライフステージに応じた研修事業】

ライフステージに応じた研修事業について、本校では2名の先生が中堅教員資質向上研修受講者に該当していた。その内1名の女性の先生の事例。7月に総セで行われた選択研修を受講中、お子さんの具合が悪くなり、早退しなければならなくなった。午前中で早退したので、その選択研修は、代替研修実施措置となった。7月という時期だったので、新たに代替研修を探すことに非常に不安があったようだが、上伊那教育会で開催される研修事業の中に中堅教員資質向上研修に該当するものがあるということで、大変安心したとのことだった。上伊那教育会が、様々な立場の先生方を大切に考えていてくれることがよくわかる。来年度以降も、是非継続をお願いしたい。

#### 【郷土研究事業】

郷土研究事業にかかわって、歴史委員会の副委員長として、創造館にある上伊那教育会所蔵資料を研究し、広く一般の方にも知っていただこうと思い、古文書を社会科研究会の皆さんと共に読み下し文にした。同時に、夏休み体験教室も行っている。春日城址等々を探検しながら説明している。言葉として伝えていくことは難しいが、小学生に聞いてもらいながら進めている。そこで撮られた写真等は、夏休み明けの新聞コンクールなどに活用されている。自分たちがやってきたことは、社会に還元されていると感じている。古文書も含め、更に発信できると思う。活動内容は難しい部分もあるが、やっていくうちに楽しくなってくる。若い先生方に入ってください、ベテランの先生方と共に経験を積みながら進めていければよいと思う。

#### 【夏休み映画鑑賞会】

夏休み映画鑑賞会では、係として駐車場にいたところ、自校の3名の児童が寄ってきて、映画鑑賞を楽しみにしている様子を話してくれた。夏休みの一コマに教育会の事業が位置づいていると感じた。今年度抽選がなかったということで、皆参加できよかった。希望者全員が参加できる夏休みの行事として、今後も続けていっていただきたい。